

平成29年度 中丸小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

「特別の教科 道徳」を中心に、各教科・領域等の授業を含むあらゆる教育活動において、思いやりの気持ちや豊かな感性をもつ子を育てます。

児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

おおむね穏やかに学校生活を営んでいる。地域からの協力も得られ、いろいろな人々との関わりをもっている。しかし、自分から積極的に物事に係わっていかこうとする子どもは少ない。道徳的価値を主体的にとらえられていないために、自ら判断して行動することに対して消極的な傾向があると思われる。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- ・たてわり活動のさらなる充実を図り、意図的に自己決定していく場面を設定していく。
- ・家庭や地域との連携を図り、多くの人と関わりながら自己肯定感を高めていく。

指針1 「特別の教科 道徳」の充実

- ・全学級の道徳科の授業を家庭・地域（年1回以上）に公開する。
- ・メンターチームによる道徳の授業公開を行い、教師個々の授業力を向上させる。
- ・「道徳教育全体計画」を見直し、「特別の教科 道徳」と各教科・領域との関連をより密にする。

指針2 体験活動の充実

- ・本校の特色である「たてわり活動」を充実させることで、異学年との活動を通して相手の立場を考えた行動がとれるようにする。
- ・学校外でも、自然と親しむ機会を意図的に設定し、身の回りの環境改善に意欲的に取り組めるようにする。